

2019年10月11日

会 社 名 e B A S E株式会社
 (コード番号：3835 東証第一部)
 本社所在地 大阪府大阪市北区豊崎五丁目4番9号
 代 表 者 代表取締役社長 常 包 浩 司
 問 合 せ 先 取 締 役 窪 田 勝 康
 執行役員 C F O
 電 話 番 号 (06) 6486-3955 (代表)
 U R L <http://www.ebase.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	1,850	378	400	270	11.75
今回修正予想 (B)	2,039	481	500	342	14.88
増減額 (B-A)	189	103	100	72	
増減率 (%)	10.2	27.2	25.0	26.7	
(ご参考) 前第2四半期(累計)実績 (2019年3月期)	1,769	337	353	242	10.57

(注)2019年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。前第2四半期(累計)実績(2019年3月期)の1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に株式の分割をしたと仮定して算出しております。

修正の理由

2020年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高、利益ともに前回発表予想より上回る見通しとなりました。

eBASE事業では、主力とする各業界向けビジネスのソフトウェア販売が計画よりも順調に推移し、特に日雑業界にて工事進行基準を適用した大型案件の進捗が順調に進んだことや、住宅業界でも早期リリースに伴う前倒し分割検収により、売上高、利益ともに予想よりも増加し、その結果、計画を上回る見通しとなりました。

IT開発アウトソーシングビジネス分野のeBASE-PLUS事業では、売上、利益ともに堅調に推移しております。

この結果、連結業績は、売上高2,039百万円(前回発表予想比+10.2%)、営業利益481百万円(同+27.2%)、経常利益500百万円(同+25.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益342百万円(同+26.7%)となる見通しです。

なお、通期の業績予想及び配当予想につきましては、前回発表の予想値から変更はありません。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上